

減災のための目標(案)について

昭和61年8月豪雨、平成27年9月関東・東北豪雨での主な特徴

昭和61年8月豪雨

①多くの住宅地を含む広範囲が長期間にわたり浸水

○吉田川の決壊により、鹿島台町(現大崎市)を中心に浸水面積約3,600ha、床上浸水約1,000戸、床下浸水約500戸の被害が発生し、浸水が解消するまでに10日余りを要した。

平成27年9月関東・東北豪雨

①夜間に水位が急激に上昇、かつ3河川で危険水位、計画高水位を超過

○三本木観測所(鳴瀬川)では、夜間にはん濫注意水位からはん濫危険水位まで僅か1時間で上昇し、3河川で計画高水位超過が4観測所、危険水位超過が4観測所となり、市町村においては、同時に広範囲な浸水となり危険な状態となった。

②鳴瀬川等の沿川市町村において床上浸水家屋数約330戸、床下浸水家屋約640戸が発生し、多くの住民が避難を余儀なくされた。

○水位・雨量・避難情報等の伝達及び住民の防災意識の向上が必要。

(浸水家屋数 出典:内閣府平成27年9月関東・東北豪雨による被害状況等について H28.2.19 12時発表 より)

③水防団・地元建設業者等と連携した水防活動

○吉田川左岸の大崎市鹿島台大迫上志田地内で、漏水が発生したが、水防団と建設業者の重機を活用した月の輪工法による漏水対策により、堤防の決壊を防ぐことができた。

○江合川右岸の涌谷町字砂田地内で、水防団の土のう積み工により堤防の越水を防止することができた。

④排水ポンプ車を現地に展開し、3日後に浸水は解消

○一部、耐水化していない排水機場が浸水し、排水機能が失われた。

減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(案)

長期間浸水した昭和61年8月豪雨、急激な水位上昇を記録した平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、鳴瀬川等で発生しうる大規模水害に対し「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより、氾濫被害の最小化を目指す

- 逃がすとは……流域住民が主体的に水害リスクを把握し、避難につながる、住民目線のソフト対策が必要です。
- 防ぐとは……地域の水防力向上を図り、氾濫被害の防止や軽減、堤防決壊を少しでも遅らせ避難のための時間を稼ぐことが必要です。
- 取り戻す……堤防決壊による大規模な浸水が、10日間余りの長期間に及ぶ地形であることから、1日でも早く日常生活を取り戻すための対応が必要です。

※鳴瀬川等……鳴瀬川・吉田川・江合川であり、洪水氾濫域が重複することなどから設定

※大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

減災のための目標(案)

■ 目標達成に向けた3本柱の取組

鳴瀬川等において再度災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、鳴瀬川・吉田川・江合川において以下の取組を実施。

1. 住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション



2. 発災時に人命と財産を守る水防活動の強化



3. 一刻も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等



避難行動のための取組事例①

・個別の防災情報を一元的に集約できる防災情報ポータルサイトの構築

現 状

個別に整備してきた情報は、緊急時に別々のメディアから別々の情報として抽出した上で、各々を照らし合わせて見る必要がある。

危険箇所

水位観測データ

ホットライン

何かいい情報の集約方法はないかな・・・

CCTV画像

浸水想定区域図

気象データ



タイムライン

流量観測データ

改善イメージ

河川管理者が持つ情報を地図上に集約。流域の状況が一目でわかる意志決定支援に資する情報を提供。

危険箇所

浸水想定区域図

気象データ



CCTV画像

水位・流量観測データ

タイムライン

ホットライン

etc...



避難行動のための取組事例②

- 管内水系の多くの危険箇所を監視するため、センサーネットワーク技術を活用した簡易な危険箇所アラート装置の開発などの水位監視システムの構築



センサ配置イメージ

避難行動のための取組事例③

- ・ 平時から住民等への周知・教育・訓練や小中学生を対象とした水防災教育の実施



水防災教育の実施



標識の設置例



標識の例

水位標識の設置事例



地図を使い、避難ルート危険箇所を検討



検討マップを基に実際にまちを歩き、点検を実施

まるごとまちごとハザードマップ

水防活動の事例①

・水防活動の効率化及び水防体制の強化

◆「避難を促す緊急行動」の一環として実施した共同点検

◆重要水防箇所合同巡視の実施について



【大崎市 点検状況】



【富谷町 巡視状況】



【大和町 点検状況】



【涌谷町 意見交換会状況】

水防活動の事例②

・水防団、地元建設業者等との連携による水防活動 (平成27年9月関東・東北豪雨での対応事例)

・自主防災組織等(大崎市の事例)

○減災に主眼をおいた安全・安心なまちづくりを実現するため、「市民力を結集した減災体制の構築」を防災ビジョンの一つとして、自主防災組織を整備。

- 【取組】
- ・自主防災組織災害時行動マニュアルの整備
 - ・自主防災組織による防災訓練の実施
 - ・自主防災組織リーダー等育成研修会の実施
 - ・(仮称)自主防災組織連絡協議会の組織化



大崎市
Osaki City

現在位置: ホーム > 防災 > 自主防災組織 > 自主防災組織の行動マニュアル例

自主防災組織の行動マニュアル例

自主防災組織における行動マニュアル例と、その資料編(避難所開設などを含む)です。自主防災組織運営の参考として活用してください。

- ・行動マニュアル[197KB docxファイル]
- ・行動マニュアル(資料編)[122KB docxファイル]
- ・災害時の活動マニュアル[169KB docxファイル]

大崎市のホームページより(自主防災組織の行動マニュアル例)

■大崎市鹿島台大迫上志田地内
【吉田川左岸16.0k】



建設業者の重機を活用した月の輪工による漏水対策を実施

■西古川公民館



西古川公民館で行われた防災訓練

■YKK AP(株)東北事務所



YKK AP(株)東北事業所と大崎市が災害時における燃料等の供給協力に関する協定の締結



にしふるかわ
西古川自主防災組織合同研修会
開催(防災無線の放送体験状況)

(出典:にしふるかわ公民館通信—blog版より)

氾濫対策や排水活動の強化等の取組事例

- ・氾濫の拡大を最小限にとどめる二線堤の整備（大崎市における水害に強いまちづくり）



緊急時における救援路や復旧活動の資材運搬路を兼ね備えた二線堤

- ・排水機場ポンプ原動機の定期的な点検を実施
- ・各管理者が管理する排水施設の点検・運用状況の情報共有
- ・非常時、各管理者で管理する既存排水施設を活用した排水計画の策定 など



排水ポンプの設置排水訓練



排水ポンプ車の設置訓練と排水ポンプ始動訓練



鳴瀬川鈴根五郎排水機場



排水機場におけるポンプ原動機等の定期的な点検